



ぎおんばら

学校教育目標
響き合い、輝かし合いながら、
共によりよく生きようとする
子どもの育成

平成31年4月16日発行 発行者：谷田部 二三子

平成31年度がスタートしました！ 今年度もよろしくお祈いします！！

4月9日、校門の陽光桜とソメイヨシノが迎える中、63名の1年生が入学してきました。今年度は全児童数343名でのスタートです。

「小学校はどんなところだろう」…希望と期待で目をキラキラさせている1年生、そして「1年生が不安なく学校生活を送ることができるように、こんなことをしてあげよう。あんなこともしてあげよう。」と考えを巡らせている上級生。平成最後の年度の祇園小学校の幕開けです。1年間、よろしくお祈いします。



◆平成31年度の学校経営について

スローガン『一人一人が生き生きと力を発揮できる学校をつくる！』
—全職員が一丸となり、「子どもが安心感と自信をもって学べる学校づくり」を推進します—

1 学校教育目標

響き合い、輝かし合いながら、共によりよく生きようとする子どもの育成

○健康で明るい子（たくましく） ○進んで学ぶ子（かしこく） ○心の豊かな子（なかよく）

※『響き合う』とは、「慎み深く聴き合い、しっとりとした空間の中で、個と個の擦り合わせをする」（第8代校長の言）、そんな関わり合いをもちながら互いに学び合おうとする姿を示している。

※『輝かし合う』とは、互いに認め合ったり助け合ったりする温かい人間関係の中で、自分や友達のよさを引き出し合い、さらに高め合おうとする姿を示している。



人は誰もがかけがえのない大切な存在である。そして、誰もがよりよく生きたいと思っている。学校はその成長を支える存在でありたい。

学校という集団の中で、自分で考えて行動することや、他者と信頼関係を築き、その中で自分を生かすことを経験させながら、自分自身の力で生き抜くたくましさや、他者と共に生きるしなやかさを培い、社会の変化に主体的に対応できる力（知・徳・体の調和のとれた生きる力）を育みたい。

・・・と考えると、13年ぶりに学校教育目標を変えました。

2 具現化の視点(目指す児童像)

健康で明るい子	・めあてをもち意欲的に運動する子 ・自他の健康や安全に気を配れる子 ・明るい心で生活できる子	【体力・気力】 【健康・安全】 【素直さ・気力・心の回復力】
進んで学ぶ子	・学び方がよく身につけている子 ・自分なりの考えをもって学ぶ子 ・学び合い高め合う子	【学習習慣】 【基礎基本の定着・自力解決】 【協調性・向上心】
心の豊かな子	・ルールやマナーを守って生活できる子 ・だれとでも仲良くし親切ができる子 ・進んで人のために働く子	【規範意識・気配り】 【思いやり・受容性・協調性】 【奉仕の精神・自主性】

始業式で子どもたちに話したこと 【1年間心がけてほしいこと・私の願い】

昨年度に引き続き、祇園小学校の子ども全員が「学校は楽しい」と思えるように、「誰もが安心して過ごせる居心地の良いクラス（学校）」をつくり、一人一人が自分の力を思い切り発揮してほしいと思っています。そのために、次の3つを常に心がけていきましょう。

- (1) **思いやり** 周りの人のことを考えて行動しましょう。
- (2) **助け合い** 誰とでも仲良く協力しながら生活しましょう。
- (3) **がんばる** めあてを決めて、がんばりましょう。

特に4月は、新しい出会いを大切に、①挨拶と、②人の話をよく聴くことを心がけましょう。 ※ご家庭でも、ぜひ、お子様にご指導ください。



1年生「初めての○○」

これから一つ一つ、学校生活に必要なことを覚えていきます。



初めての“返事”練習。元気よく「はい！」 初めての“荷物整理”。真剣に聴いています。 初めての“トイレのサンダルそろえ”。

◆お知らせ◆

学校職員の勤務時間外（休日を含む）に緊急に連絡することがあり、学校(44-5002)に電話したがつながらなかった場合は、下野市教育委員会学校教育課(32-8918)に電話をしてください。学校教育課職員が警備会社を経由して、校長か教頭に連絡がくるようになりました。

地域の皆様へ

祇園小学校長の谷田部です。今年度も、自治会長様をはじめ、役員の皆様のご理解とご協力により、校長室通信を回覧していただけることになり、嬉しく思っております。地域の皆様に、祇園小学校の取組や児童の様子を知っていただき、少しでも親しみをもってもらえるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、回覧していただいている校長室通信とホームページ掲載のものは、基本的には、保護者に配っているものと同様の内容としておりますが、個人名は載せないようにしております。従いまして、今回は、教職員の異動や校内組織の部分を除いております。今後、児童の活躍の様子を紹介する場合も、個人名を伏せてお伝えしますことをご理解ください。

「ファミリエ下野市民運動」をご存じですか？

大人一人一人が子どもに積極的に関わり、家庭教育力の向上、地域の子どもは地域で育む市民意識の定着、子どもの成長を見守る社会の実現を目指し、学校、家庭、地域が一体となり取り組むものです。

- 1 あいさつから始めましょう
- 2 みんなで子どもたちを見守りましょう
- 3 家庭では子どもに話しかけましょう



下野市青少年育成市民会議・下野市教育委員会

子どもにとって、安心安全な環境は、誰にとっても安心安全な環境と言えます。「まずは、子どもへの声かけから」地域をつくっていかうとするファミリエ下野市民運動に私は賛同します。

地域の皆様には、子どもの登下校の時間に合わせて犬の散歩等をしていただくとか、外出の際に子どもを見かけたら声をかけていただくとか、できる範囲で結構ですので、ご協力いただけますとありがたいです。